

工事事故防止行動計画 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

令和元年9月10日事故発生

まさか!? 石をどけたら、管も一緒に!!

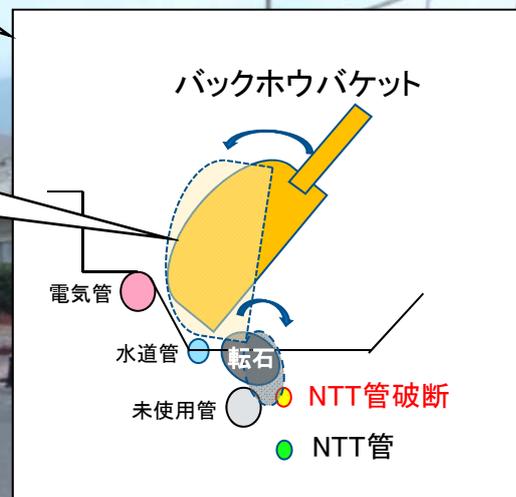
【被害】

- ・インターネット回線断線 8.5h
- ・公衆損害により「減点」

転石を、バックホウで
取り除こうとした

道路沈下の原因調査のため、
試掘(幅1.6m×長さ2.7m×深さ1.0m)

下水道管以外の埋設管
の調査・確認をしなかった



【事故の概要】

- 港湾道路沈下箇所での沈下原因調査のための試掘作業現場
- W1.6×L2.7×D1.0(m)の範囲をバックホウで試掘予定
- 事前に下水道管の埋設は把握していたものの他の埋設物の情報は入手していなかった。
- 試掘は、埋設シート、巻砂の有無を確認しながら慎重に作業を進めていたが、深さ0.6m付近に転石があり、バックホウで取り除こうとしたところ、転石がNTT管に接触していたため管と管内ケーブルを破断してしまった。

【再発防止策】

- 想定される全ての埋設管管理者に試掘箇所での物件の有無を確認し現場での埋設位置の確認立会を行う
- 未知の埋設物件は現地確認時、マンホール、空気弁等の確認をすると共に沿道住民への確認を行う
- 掘削は基本的に手掘りで行う
- 転石は形状、大きさ、支障物との位置関係がわからないため、転石除去前に回りを事前に手掘りで確認してから除去する。

交通基盤部 土木工事 事故発生件数	事故 分類	工事関係 者(傷害)	第三者 (傷害)	第三者 (物損)	工事事故 合計	令和元年 10月末現在 (前年同期)
	件数	0件(1)	0件(1)	18件(21)	18件(23)	

令和元年10月31日までで「死亡事故ゼロ」1322日を達成しました!

道路等施工(掘削、杭打等)時の埋設物事故防止のための埋設物確認フロー(Ver.4)

本事案を踏まえ、ニュースレター9号掲載の埋設物確認フローVer.3の追加修正を行いましたので今後はこれを参考にしてください。

